

第 47 回交通技術セミナー(オンライン開催)

交通結節点の機能強化と交通ネットワーク

主催:一般社団法人 交通工学研究会 交通技術研究小委員会

新型コロナウイルスがもたらしたパンデミックにより、物流の観点では生産物流の減少、消費者物流の増加、そして労働力減少への対応などから、高速道路の SA・PA が担う役割が変化しています。

コロナ禍以前では、インバウンド需要や都市間移動ニーズの高まりにより、平成 28 年に新宿駅前のバス乗降場を集約配置した公共交通ターミナル「バスタ新宿」が開業し、アフターコロナを見据えたいま、バスタプロジェクトは全国展開が進んでいます。更に振り返ると平成 23 年の東日本大震災のような自然災害が発生した際には、道の駅が避難所や復旧活動の後方支援拠点として、危機管理の観点でも重要な役割を果たしました。

こういった重要性を踏まえ、令和 2 年の道路法改正により「特定車両停留施設の構造及び設備の基準を定める省令」が制定され、令和 3 年には「交通拠点の機能強化に関する計画ガイドライン」が策定されたことで、取り組みが進められているところです。

「第 47 回交通技術セミナー」では「交通結節点の機能強化と交通ネットワーク」をテーマに、「交通拠点」の機能更新をどのように交通・道路計画に活かしていくべきか等について、交通結節点・道の駅などに関する造詣が深い学識経験者の方や事業に関連した道路施策のご担当の方、最新の取組事例等の紹介として実務者の方々をお招きし、ご講演をいただきます。多数の皆様の参加をお待ちしております。

■開催日 : 2023年10月30日(月) 13:30~17:10

■開催形式 : Zoomを使ったオンライン形式

■参加費 : 交通工学研究会会員7,700円 学生会員2,200円 非会員8,800円(いずれも消費税含む)

■プログラム : プログラム及び講師は変更の場合もございますので予めご了承願います。

講演については事前に録画した映像を配信する場合があります。ディスカッション・質疑応答などは同時中継(生配信)で行う予定です。なお、講演ごとに質疑の時間を設ける予定です。

13:30~13:35	<開会挨拶>	交通技術研究小委員会 委員長 深井 靖史
13:35~14:25	1. 交通ネットワークにおける拠点と結節点(仮)	横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院 教授 田中 伸治
14:25~15:15	2. 道路における拠点施策	国土交通省道路局企画課 課長補佐 宮本 雄一
15:15~15:25	休憩	
15:25~16:15	3. 交通結節点としての「道の駅」活用事例の紹介(仮)	一般財団法人 日本みち研究所 吉原 功
16:15~17:05	4. 「交通未来都市」宇都宮のまちづくり	宇都宮市 建設部 LRT整備課 課長 阿久津 誠
17:05~17:10	まとめ	

・プログラム及び講師の変更、その他の緊急の連絡は当会ウェブページ等でご案内します。

・会社や自宅などで受講頂くことを想定しておりますが、適当な受講場所の確保が難しい方は事務局までメールでご相談下さい。受講場所等に関するお問合せ: 一般社団法人交通工学研究会 事務局 MAIL: event-a@jste.or.jp

■参加登録について:

・当会ウェブページ(<https://www.jste.or.jp/news-events/>)の第 47 回交通技術セミナー欄よりお申込みください。

・本セミナーに参加するには、参加登録が必要となりますので、事前に参加登録をお済ませください。

・申込みフォームから参加者情報の送信、参加費納入の両方の手続きが済むと、参加登録が完了となります。

・振込の場合 10 月 19 日(木)までにご入金ください。10 月 20 日(金)以降はクレジットカード決済のみ受け付けます。

・入金完了した方には、入金確認された際に配信されるメールに、当日のオンライン会場へのアクセス方法や、資料入手方法等のご案内をお送りしますので、メールを破棄しないようご注意ください。

参加申込み・参加費納入・キャンセルに関するお問合せ: 一般社団法人交通工学研究会 受付事務局

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1 パレスサイドビル (株)毎日学術フォーラム内

TEL: 03-6267-4550 mail: maf-jste.info@mynavi.jp



一般社団法人 交通工学研究会

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 3-23 錦町 MKビル 5 階

※開催に関する緊急の連絡は <http://www.jste.or.jp/> の新着情報欄にてお知らせいたします。